

Press Release

2008-07-29 08:07

曙ブレーキ、新本店ビル竣工式を実施

曙ブレーキ工業株式会社(代表取締役社長:信元久隆 本店:東京都中央区 本社:埼玉県羽生市)は、2007年5月より建設を進めておりました日本橋本店ビルがこの度完成し、7月29日に竣工式を実施いたしました。

新本店オフィスは工場が製品の生産工場であるのに対し、知恵の生産工場として捉えており、国内外の拠点を情報で結び、コミュニケーションを通して知恵を創造するグローバル本社として位置づけています。

<新本店ビルの特徴>

新本店ビルは環境対策を施し、BCP(事業継続計画)にも最大限注力するとともに、業務効率を重視した次世代型オフィスビルです。

環境対策としては、屋上にソーラーパネルを設置、日中はエレベーター3台分の電力をまかなうことができます。また、トイレの洗浄水に雨水を利用し、年間約1300t(雑用水全体使用量の約1割)の節水が可能です。加えて、1階の植栽には、当社ブレーキの廃材を利用した土壌を使用し、資源の再利用に努めています。さらに、ビル南面には遮熱性に優れたガラス(Low-E^{ローイー}ガラス)を使用するとともに、屋上の一部を緑化し、CO₂排出量削減を考慮したつくりとしました。

BCP対策としては、免震構造を採用し、2つの変電所から電力が送電される仕組みになっているとともに、非常時には屋上に設置した発電機により72時間の自家発電が可能です。さらに、役員会議室には火災受信機と非常放送用マイクを設置し、災害発生時には防災センターとして機能させることも可能です。

オフィスの内部は、部屋の仕切りにガラスを使用することにより、役員間・社員間でいつでも相互に意思疎通が図れるレイアウトが特徴です。また、高度なハイビジョン・テレビ会議によって国内外のオフィス・工場といつでもコミュニケーションを取ることができ、移動の口スを最小化することも意図されています。業務の先にある人の存在を「見える化」することで生み出される円滑なコミュニケーションによって、さらなる業務の効率化を進めていきます。

<新本店ビル概要>

建物名称	akebono 日本橋ビル
所在地	東京都中央区日本橋小網町 19 番地 5
敷地面積	1,387.33 m ² (420 坪) (注) 旧本店ビルの約 2 倍
延床面積	9,470.93 m ² (2865 坪) (注) 本店として使用するのは 3 フロア
階数	地上 9 階 地下 1 階
構造	鉄骨造り 一部鉄骨鉄筋コンクリート
設計	(株)プランテック総合計画事務所
施工	(株)銭高組
着工	2007 年 5 月
竣工	2008 年 7 月
投資総額	約 33 億円
従業員数	50 名 (常駐)